

教育相談
072-941-3365

情報推進
072-943-5785

研究・研修
072-943-5784

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>
（「教育委員会」のページよりご覧ください）

初任者研修 ～人権について考える～

内容：人権について考える2「八尾市における人権教育の現状と課題」
適応指導教室（さわやかルーム）について

日時：令和2年9月3日（木）

講師：八尾市教育委員会人権教育課指導主事、教育センター指導員

八尾市立学校の初任者教職員を対象に、人権について考える2「八尾市における人権教育の現状と課題」、適応指導教室（さわやかルーム）について研修を行いました。

人権について考える2では、人権教育の現状と課題について、様々な人権課題やその背景を理解することの大切さについて学びました。

また、適応指導教室（さわやかルーム）では、適応指導教室の概要や、活動内容、不登校児童生徒への対応など、具体的な事例をもとに学びました。

受講者からは、「教職員がモデルになることの重要性を学んだ」

「様々な人権について意識を高める必要があると感じた」「不登校の子どもや保護者の気持ちに寄り添った対応が重要である」といった感想があり、人権課題や不登校児童生徒への理解が深まった研修となりました。



「総合」授業づくり研修

日時：令和2年8月17日（月）15:30～17:00

講師：甲南女子大学 教授 村川 雅弘 さん

「地域の素材を活かした探求的な授業づくりについて」に加えて「コロナ禍における総合の授業づくりについて」と題して、ご講義いただきました。

受講者の感想として、「何を学んだのかを時間をとって振り返ることは大切であり、子どもたちを大きく成長させるプロセスだなと思いました。」「生活・総合で身につけられる力は、まさに今求められている力であると改めて感じました。」

「生徒自身に『しっかり考えさせる授業』を総合の時間に行うことで物事を『自分の視点で述べたり、考えたり』という力を身につけさせられるのでは…と感じた。」「大人が『こうしなさい』と言いがちですが、子ども自身に考えさせる方法を、もっと教育現場に取り入れていけば、子どもたちはやりがいをもっていきいきと輝くと思いました。」などがありました。



「社会」授業づくり研修

日時：令和2年8月18日（火）15:30～17:00

講師：同志社大学 准教授 奥野 浩之 さん

「主体的に学びに向かう社会科の授業づくり～社会的な見方・考え方を働かせて～」と題し、「Moodle」というコンテンツを使用してご講義いただきました。

受講者の感想として、「日本国憲法と法律の関係については、先生がおっしゃっていた通り、前提となる守る対象についての理解が十分でなかったこと、様々な事象について多角的に考えるためには、前提とともに、十分な知識が必要なのだということがよくわかりました。」「コンテンツを実際に使ってみて、子どもたち全員に理解させられる可能性を感じました。全員が理解していることを前提にすることで、討論や話し合いがより深まると思いました。」「今まで、中3で人権について教えてきて、自分では教えていたつもりであったが、今日のコンテンツを体験して今まで自分がしていた授業では、生徒は本当に理解しているとは言えないような気がしました。」

「興味関心をひく題材を用意することで授業を円滑に進められると考えていたが、題材が狙いに沿った内容であるのかも非常に重要であると改めて実感した。」などがありました。



「国語」授業づくり研修

日時：令和2年8月25日（火）15:30～17:00

講師：大阪教育大学 教授 住田 勝 さん

「小中のつながりを意識した国語科の授業づくりについて」（小学校高学年・中学校）と題して、ご講義いただきました。4年生で学習する「ごんぎつね」の教材分析から教材を構造的にとらえ、中学校の教材「星の花が降るころに」を構造的に比較した『つながりの視点』をお話していただきました。

受講者の感想として、「題名については考えたことがありませんでした。物語の構造など、ごんぎつねをこれほど面白く興味深く読んだことはありませんでした。」「中学校の国語の指導のねらいがどのようなものか気になっていましたが、小学校の延長として考えられるなと思いました。」「最近の小学校の物語教材では、場面同士のつながりや物語の構造を捉えさせることが多いと思っていましたが、それが一人で物語を深く読み解くことにつながっていくんだと思いました。」

「小学校で学び、身につけてきた力を、中学校でさらに伸ばしていけるよう、教材研究を重ね、子どもたちが国語を楽しみ、主体的に学べるようにしていこうと思います。」「課題→解決の流れで書かれた物語が、高学年になるにつれて複雑になっていることは興味深かったです。その流れから「星の花」や「走れメロス」「故郷」のラストへとつながっていると分かったので、それぞれの作品を行うときに振り返りとして使ってみようと思います。」などがありました。

